

5 町内会等における防災活動の推進について

(1) 地域の防災力を高めるにはどうしたらよいでしょうか？

自主防災組織をつくり，地区防災計画の策定，防災訓練などを行いましょう。

地震や台風，大雨，洪水などの災害情報をキャッチして，地域や家庭で早めの災害対策を行うことにより，被害を軽減することができます。

特に命を守るための避難行動は，日ごろから家族や地域でよく話し合い心掛けておくことで迅速かつ安全に行うことができます。今日から1人ひとりができることから始めましょう。

①自主防災組織の結成

災害から，自らのまちを地域のみんで守りましょう。

◆大地震や浸水が起きたときは

火災や事故などが起きたとき，私たちは119番や110番に電話して，消火や救助などを求めます。しかし，大地震や浸水などの大規模な災害ともなれば，電話が通じないことや行政機関が被害を受けることも考えられます。また電話が通じて，道路が通行できないなど，消防や警察，行政機関などの機動力が期待どおり発揮されるかどうか分かりません。



◆一刻を争います

けがをしたり閉じ込められたりした人の救助は一刻を争います。1人でも多くの人を救うためには，地域の皆さんが自ら救助活動や，初期消火活動を行うことが大切です。また避難する際も，集団で行動することで，けが人，子ども，高齢者といった災害時要援護者の救出や救助が行いやすくなります。



◆自主防災組織の結成

大規模な災害に対して，最も素早く，そして組織的に活動を起こせるのが自主防災組織です。地域の皆さんが協力して活動することで，被害を食い止める力も一層増すことになります。町内会を基本単位とした自主防災組織の結成をご検討ください。

◆結成までの手順

- 1 自治会の代表者や町内会長などを通じて，総社市の危機管理室に相談する。
- 2 自治会や町内会などでの簡単な計画を作成します。
(受け持つ区域や，リーダーなどを決めます。)
- 3 市に自主防災組織結成の届出を行います。

②地区防災計画の策定

みんなでつくる地区防災計画

◆地区防災計画とは

日頃の対策において重要なことは、地域で連絡体制や安否確認などのルールを決めておくことです。それを文面化したものが「地区防災計画」です。

◆地区防災計画を作成するにあたって

地区防災計画は各町内会・自主防災組織で作成していただくものです。地区によって地形や住民の年齢構成、家族構成などが違います。それらの特性を最も把握している各町内会・自主防災組織が主体となって、多くの住民が計画作成作業に取り組むことで、より実効性のある計画になり、地域のコミュニティの維持・活性化につながっていきます。

◆地区防災計画 作成手順

- 1 事前検討
 - ・地区の特性把握（人口，地形，自然環境等）
 - ・起こりうる自然災害（リスク）
- 2 ルールづくり
 - ・危険箇所の把握
 - ・連絡体制
 - ・安否確認
 - ・高齢者等の見守り・支援体制など



- 3 文面化，図化
総社市ホームページの地区防災計画 ひな型を参考に計画書を作成

③防災訓練，避難訓練の実施

自主防災組織の活動事例（総社市ホームページより引用）



救命救急講習



起震車体験



消火訓練



避難場所における
安否確認訓練



夜間避難訓練

④災害への備え

災害に備えて、日ごろから準備する

災害に備えて準備しておくこと（総社市ホームページから引用）

非常持出品・・・避難するとき、まず最初に持ち出すべきものです。

◇懐中電灯

できれば1人に1つを用意。予備の電池と電球もあわせて準備。

◇携帯ラジオ

小型で軽く、AM・FM両方を聞けるものを用意。予備電池も多めに準備。

◇救急医薬品

消毒薬、包帯、ばんそうこう、かぜ薬、解熱剤、胃腸薬、常備薬

◇非常食・飲料水

非常食は3日分を用意。水はペットボトルで準備。乳幼児がいる場合には粉ミルクなども準備。

◇現金・貴重品

現金は、公衆電話の利用も考慮して10円硬貨も用意。貴重品は、預金通帳、印鑑、健康保険証、免許証のコピー、権利証書など。

◇ヘルメット・軍手・タオル・着替え（上着・下着）

一人ひとりに用意。着替えの衣類は、長袖・長ズボンを準備。

◇その他

ライター（マッチ）、モバイルバッテリー、ろうそく、ナイフ、缶切り、ビニール袋、ティッシュ、ウェットティッシュ、ビニールシート、生理用品など。乳幼児や高齢者がいる場合は、ほ乳瓶、紙おむつなども準備



災害用備蓄品・・・被災後の生活のために準備しておきたいものです。

◇食料

缶詰、レトルト食品、カップ麺、栄養補助食品など

◇水

1人1日3リットルを目安に3日分の備蓄を。

◇カセットコンロなど

予備ボンベや野外バーベキュー用品（木炭・固形燃料）など。

◇消火・救助用品

消火器、のこぎり、スコップ、バール、車のジャッキなど。

◇その他（阪神・淡路大震災で役に立ったもの）

ホイッスル、キッチン用ラップ、新聞紙、携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具（マジックなど）

